

# 「日本3.0」

Vol.8

## 日本からリーダーが生まれない 3つの理由

text by Norihiko Sasaki

文 佐々木 紀彦

「日本には、今こそリーダーが必要だ」  
メディアでも、講演会でも、居酒屋  
トークでも、「リーダー待望論」があふ  
れにあふれています。

しかし、皮肉なことに、いっこうにリー  
ダーが現れる気配はありません。なぜ  
日本にリーダーがいらないのでしょうか  
か？それにはいくつか理由があります。

1つ目は、時代背景です。  
戦後、長らく、「決断型リーダー」が  
必要だったことが響いています。

高度経済成長期のビジネスには、戦

略はいりませんでした。ひたすら、市  
場が右肩上がりです。伸びるので、市  
場は攻めまわればよい。「攻める」  
という戦略が正しければ、戦術の多少  
のミスは成長が覆い隠してくれます。  
「調整型リーダー」がいてくれれば事足  
りたのです。

その典型例が田中角栄です。最近、  
角栄本が売れています。その購入者  
の大半はシニア世代です。人使いのう  
まさなど角栄に学ぶべきところはあり  
ますが、現代の日本が求める「決断型  
のリーダー」とは思えません。

2つ目は、育成問題です。  
「決断型のリーダー」がいなくてもよ  
かった期間が長すぎたがゆえにリー  
ダーを発掘・育成するシステムとノウ  
ハウが日本から失われてしまいました。  
しばしば、「リーダーは育てられるか」  
が議論になりますが、ひとつ確かなの  
は、リーダーは自然と時代が生み出す  
ものではないということです。危機に  
なれば、必ずリーダーが生まれるので  
あれば、どこの国や会社も、衰退した

り倒産したりしないでしょう。  
3つ目は、損得の問題です。

リーダーになることが損な時代に  
なっているとということです。ただし、  
ここでの損得とは、単純にお金の話  
ではありません。社会からの尊敬や、  
リーダーを見る人々の気持ちなどを包  
含しています。

一流のリーダーは金銭で動きません。  
自分が犠牲になっても世の中に尽く  
そうという人はいます。しかし、誰し  
も人間です。ある程度の尊敬や報酬を  
求めるのは当然です。嫉妬で嫌がらせ  
をされたり、メディアで叩かれたり、  
嫌なことばかりでは、リーダーになる  
のがおっくうになってしまいます。

そのため、現代の日本では、リーダー  
にふさわしい人ほど、手を挙げません。  
リーダーに立候補する人は、ナルシシ  
ズムや自己顕示欲が強い人ばかりに  
なっています。リーダーの  
世界でも、悪貨が良貨を駆逐してし  
まっています。



### Profile

NewsPicks編集長

1979年福岡県生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業、スタンフォード大学大学院で修士号取得(国際政治経済専攻)。東洋経済新報社で自動車、IT業界などを担当。2012年、「東洋経済オンライン」編集長に就任。リニューアルから4カ月で同サイトをビジネス誌系サイトNo.1に導く。2014年7月から経済ニュースサイト「NewsPicks」の編集長を務める。著書に「米国製エリートは本当にすごいのか?」「5年後、メディアは稼げるか」がある。